

5	午 前
---	-----

(10時00分～12時00分)

問 題


- ◎ 指示があるまで開かないでください。

注 意 事 項

1. 午前の試験問題の数は 77 問で、解答時間は正味 2 時間 00 分です。
2. 受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、受験票に貼付されている受験番号シールを解答用紙左上の【シール貼付欄】に貼付してください。次に中央の欄に受験番号を、一番右の欄に氏名を HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用して記入してください。

(例) 受験番号 0A-0001 の場合

シール貼付欄	 0A-0001	受験番号	0A-0001	氏名	心理 花子
--------	---	------	---------	----	-------

3. 解答方法

- (1) 各問題には①から④までの 4 つの選択肢又は①から⑤までの 5 つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を[例 1]及び[例 2]では 1 つ、[例 3]では 2 つを選び、解答用紙に記入してください。
- (2) [例 1]及び[例 2]の問題に 2 つ以上解答した場合は、誤りになります。
[例 3]の問題に 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は、誤りになります。

[例 1] 次のうち海に面していない県について、正しいものを 1 つ選べ。

- ① 青森県
- ② 岐阜県
- ③ 兵庫県
- ④ 宮崎県

正解は②であるから解答用紙の②をマークすればよい。

解答用紙 A の場合

1	①	②	③	④
1	①	●	③	④

解答用紙 B の場合

1	1
①	①
②	●
③	③
④	④

[例 2] 我が国における現在の元号として、正しいものを 1 つ選べ。

① 寛永 正解は⑤であるから解答用紙の⑤をマークすればよい。

② 元禄

解答用紙 A の場合

解答用紙 B の場合

③ 昭和

④ 大化

⑤ 令和

2	①	②	③	④	⑤
↓					
2	①	②	③	④	●

2	2
①	①
②	②
③	③
④	④
⑤	●

[例 3] 次のうち県庁所在地となっている都市名について、正しいものを 2 つ選べ。

① 川崎市 正解は③と④であるから解答用紙の③と④をマークすればよい。

② 倉敷市

解答用紙 A の場合

解答用紙 B の場合

③ 仙台市

④ 高松市

⑤ 北九州市

3	①	②	③	④	⑤
↓					
3	①	②	●	●	⑤

3	3
①	①
②	②
③	●
④	●
⑤	⑤

(3) 解答は全てマークシート形式です。採点は、光学式文字読取装置によって行います。解答用紙への記入は HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。ボールペンは使用できません。また、例のように○をはみ出さないように、濃く塗りつぶしてください。

良い例 … ●

悪い例 … ●○●●● (←読取りができないため、解答になりません。)

4. 一度解答した問題を訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残っていたり、上から二重線などで消した場合は、訂正したことにはなりませんので注意してください。

5. 解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

◎ 指示があるまで開かないでください。

問1 個人情報の保護に関する法律における「要配慮個人情報」に該当するものを1つ選べ。

- ① 氏名
- ② 掌紋
- ③ 病歴
- ④ 生年月日
- ⑤ 基礎年金番号

問2 心理支援におけるスーパービジョンについて、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 最新の技法を習得することが主な目的である。
- ② スーパービジョンの対象にアセスメントは含まれない。
- ③ 異なる領域の専門家の中でクライアントの支援について話し合われる。
- ④ スーパーバイザーの心理的危機に対して、スーパーバイザーはセラピーを行う。
- ⑤ スーパーバイザーには、実践のありのままを伝える自己開示の姿勢が求められる。

問3 障害者の職業生活における自立を図るため、雇用、保健、福祉、教育等の関係機関との連携の下、障害者の身近な地域において就業面及び生活面における一体的な支援を行い、障害者の雇用の促進及び安定を図ることを目的とする施設として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 就労移行支援事業所
- ② 精神保健福祉センター
- ③ 障害者職業総合センター
- ④ 障害者就業・生活支援センター
- ⑤ 国立障害者リハビリテーションセンター

問4 高い目標を立て、それを高い水準で完遂しようとする動機として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 親和動機
- ② 達成動機
- ③ 外発的動機
- ④ 生理的動機
- ⑤ 内発的動機

問5 心理学の実験において、独立変数と従属変数の因果関係の確かさの程度を表すものとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 内的妥当性
- ② 収束的妥当性
- ③ 内容的妥当性
- ④ 基準関連妥当性
- ⑤ 生態学的妥当性

問6 重回帰分析において、説明変数間の相関の絶対値が大きく、偏回帰係数の推定が不安定となる状態を説明する概念として、正しいものを1つ選べ。

- ① 一致性
- ② 共通性
- ③ 独自性
- ④ 不偏性
- ⑤ 多重共線性

問7 観察法のチェックリスト法による2人の評定の一致の程度を表す指標として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① α 係数
- ② γ 係数
- ③ κ 係数
- ④ ϕ 係数
- ⑤ ω 係数

問8 ヒューリスティックスの説明として、適切なものを1つ選べ。

- ① いくつかの具体的事例から一般的、普遍的な法則性を結論として導く手続のことである。
- ② 外的な事象をもとに内的なモデルを構成し、その操作により事柄を理解する手続のことである。
- ③ 一連の手順を正しく適用すれば、必ず正しい結果が得られることが保証されている手続のことである。
- ④ 現在の状態と目標とする状態を比較し、その差異を最小化するような手段を選択していく手続のことである。
- ⑤ しばしば経験から導かれ、必ずしも正しい結果に至ることは保証されていないが、適用が簡便な手続のことである。

問9 子どものディスレクシアの説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 知的能力障害(精神遅滞)を伴う。
- ② 生育環境が主な原因となって生じる。
- ③ 文字の音韻情報処理能力に問題はない。
- ④ 読字と同時に、書字にも障害がみられることが多い。
- ⑤ この障害のある人の割合は、言語圏によらず一定である。

問10 R. S. Lazarus と S. Folkman によるトランスアクションナルモデル〈transactional model〉の説明として、適切なものを1つ選べ。

- ① パニック発作は、身体感覚への破局的な解釈によって生じる。
- ② 抑うつは、自己・世界・未来に対する否定的な認知によって生じる。
- ③ 無気力は、自らの行動と結果に対する非随伴性の認知によって生じる。
- ④ ストレス反応は、ストレッサーに対する認知的評価とコーピングによって決定される。
- ⑤ 回避反応は、レスポナント条件づけとオペラント条件づけの原理によって形成される。

問11 嚥下反射の中樞が存在する部位として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 延髄
- ② 小脳
- ③ 中脳
- ④ 辺縁系
- ⑤ 視床下部

問12 高次脳機能障害における遂行機能障害の説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 話題が定まらない。
- ② 自発的な行動に乏しい。
- ③ 行動の計画を立てることができない。
- ④ ささいなことに興奮し、怒鳴り声をあげる。
- ⑤ 複数の作業に目配りをすることができない。

問13 コストに対する報酬の比が個人の期待である比較水準を上回る場合に当事者はその関係に満足し、一方、別の他者との関係におけるコストと報酬の比である選択比較水準が比較水準を上回る場合には、その関係に移行すると考える理論に該当するものを1つ選べ。

- ① バランス理論
- ② 社会的浸透理論
- ③ 社会的比較理論
- ④ 相互依存性理論
- ⑤ 認知的不協和理論

問14 H. S. Sullivan の着想に基づく前青年期における互いの同質性を特徴とする仲間関係として、適切なものを1つ選べ。

- ① ピア・グループ
- ② チャム・グループ
- ③ ギャング・グループ
- ④ セルフヘルプ・グループ
- ⑤ エンカウンター・グループ

問15 注意欠如多動症／注意欠如多動性障害〈AD/HD〉の児童へのアセスメントについて、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 親族についての情報を重視しない。
- ② 1歳前の行動特性が障害の根拠となる。
- ③ 運動能力障害の有無が判断の決め手となる。
- ④ 家族内での様子から全般的な行動特性を把握する。
- ⑤ 保育園、幼稚園などに入園してからの適応状態に注目する。

問16 H. Ebbinghaus が文章完成法を開発した際に、測定しようとした対象として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 性格
- ② 病態
- ③ 対人知覚
- ④ 知的統合能力
- ⑤ 欲求不満耐性

問17 WAIS-IVにおいて、制限時間のない下位検査を1つ選べ。

- ① 算数
- ② パズル
- ③ 絵の完成
- ④ 行列推理
- ⑤ バランス

問18 自分自身で一定の手順に従い、段階的に練習を進めることによって、心身の機能を調整する方法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 森田療法
- ② 自律訓練法
- ③ シェイピング
- ④ スモールステップ
- ⑤ セルフ・モニタリング

問19 T. Holmes らの社会的再適応評価尺度において、LCU 得点(Life Change Unit score)が最も高く設定されているライフイベントを1つ選べ。

- ① 親友の死
- ② 近親者の死
- ③ 配偶者の死
- ④ 本人の怪我や病気
- ⑤ 経済状態の大きな変化

問20 職場におけるメンタルヘルス対策として、G. Caplan の予防モデルに基づく二次予防に該当するものを1つ選べ。

- ① 職場復帰支援プランの作成
- ② 高ストレス者への医師による面接指導
- ③ メンタルヘルスケアに関する研修の実施
- ④ 過重労働対策としての労働時間の上限設定
- ⑤ 疾病を抱える労働者への治療と仕事の両立支援

問21 T. Dembo と B. Wright らが提唱した障害受容の理論に関する説明として、正しいものを1つ選べ。

- ① 価値範囲を縮小する。
- ② 相対的価値を重視する。
- ③ 失われた能力の回復を重視する。
- ④ 精神障害の病識研究を端緒とする。
- ⑤ 障害に起因する波及効果を抑制する。

問22 深刻な逆境経験がありながらも、良好な心理社会的適応を遂げる過程を示す概念に該当するものを1つ選べ。

- ① ジョイニング
- ② レジリエンス
- ③ エントレインメント
- ④ ソーシャル・キャピタル
- ⑤ ソーシャル・インクルージョン

問23 認知症の行動・心理症状[behavioral and psychological symptoms of dementia(BPSD)]について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 生活環境による影響は受けない。
- ② 前頭側頭型認知症では、初期からみられる。
- ③ 治療では、非薬物療法よりも薬物療法を優先する。
- ④ Alzheimer型認知症では、幻視が頻繁にみられる。
- ⑤ 単一の妄想として最も頻度が高いのは、見捨てられ妄想である。

問24 特別な教育的支援を必要とする子どもへの就学相談や就学先の決定について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 就学相談を経て決定した就学先は、就学後も固定される。
- ② 就学相談は、心理検査の結果を踏まえて就学基準に照らして進める。
- ③ 就学相談のために、都道府県教育委員会は就学時健康診断を実施する。
- ④ 保護者、本人等との合意形成を行うことを原則とし、市町村教育委員会が最終的に就学先を決定する。
- ⑤ 就学先が決定した後に、保護者への情報提供として、就学と当該学校や学級に関するガイダンスを行う。

問25 少年院における処遇について、適切なものを1つ選べ。

- ① 公共職業安定所と連携し、出院後の就労先の確保のため就労支援を行う。
- ② 矯正教育課程のうち医療措置課程の実施が指定されているのは、第2種少年院である。
- ③ 在院中の少年に対して、高等学校卒業程度認定試験を受験する機会を与えることはできない。
- ④ 仮退院中の少年の相談に応じることはできるが、退院した少年の相談に応じることはできない。
- ⑤ 障害を有する在院者には、適当な帰住先の有無にかかわらず、出院後速やかに福祉サービスを受けられるよう特別調整を行う。

問26 事業主が職場における優越的な関係を背景とした言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等についての指針(令和2年、厚生労働省)が示す、職場におけるパワーハラスメントの3つの要素に該当するものを1つ選べ。

- ① 上司による部下への行為
- ② 行為者が正規雇用労働者であるもの
- ③ ひどい暴言や名誉棄損などの精神的な攻撃
- ④ その行為により労働者の就業環境が害されるもの
- ⑤ 当該労働者が通常就業している事業場で行われた行為

問27 アレルギー反応によるアナフィラキシーの症状として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 顔の腫れ
- ② 手の震え
- ③ 気道の拡張
- ④ 血圧の上昇
- ⑤ 脈拍の減少

問28 慢性的なコルチゾールの過剰状態に伴う症状として、正しいものを1つ選べ。

- ① 低血糖
- ② るい瘦
- ③ 眼球突出
- ④ けいれん
- ⑤ 満月様顔貌

問29 我が国における移植医療について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 移植件数が最も多い臓器は腎臓である。
- ② 臓器を提供する意思表示に年齢の制約はない。
- ③ 移植を受けた患者に精神障害が生じるのはまれである。
- ④ 肝移植の大部分は脳死後の臓器提供によるものである。
- ⑤ 生体移植における提供者の意思確認は移植医療チームが行う。

問30 DSM-5の回避・制限性食物摂取症／回避・制限性食物摂取障害の特徴として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 小児に特有である。
- ② 食べることへの関心を失う。
- ③ 過度の減量を契機に発症する。
- ④ 体型に対する認知に歪みがある。
- ⑤ 文化的慣習によって引き起こされる。

問31 DSM-5の月経前不快気分障害が含まれる症群又は障害群を1つ選べ。

- ① 抑うつ障害群
- ② 不安症群／不安障害群
- ③ 身体症状症および関連症群
- ④ 双極性障害および関連障害群
- ⑤ 心的外傷およびストレス因関連障害群

問32 睡眠薬として用いられるオレキシン受容体拮抗薬の副作用として、頻度が高いものを1つ選べ。

- ① 依存
- ② 傾眠
- ③ 呼吸抑制
- ④ 前向性健忘
- ⑤ 反跳性不眠

問33 自傷他害のおそれはないが、幻覚妄想があり、入院を必要とする精神障害者で、本人も入院を希望している。この場合に適用される精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉に基づく入院形態として、適切なものを1つ選べ。

- ① 応急入院
- ② 措置入院
- ③ 任意入院
- ④ 医療保護入院
- ⑤ 緊急措置入院

問34 小児科における公認心理師の活動の留意点に含まれないものを1つ選べ。

- ① 家族は心理的支援の対象である。
- ② 治療すべき身体疾患を見逃さないよう連携を図る。
- ③ 虐待に関わる証拠の発見収集はもっぱら医師に任せる。
- ④ 疾患についての治療内容や自然な経過を知るようにする。
- ⑤ 重篤な疾病の診療で疲弊した医療者を支えることは業務の1つとなる。

問35 低出生体重児及びその発達に関する説明として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 低出生体重児は、高体温症になりやすい。
- ② 低出生体重児は、単胎児よりも多胎児により多い傾向がある。
- ③ 極低出生体重児は、運動障害や知的障害などの合併症の頻度が高い。
- ④ 日本における低出生体重児の出生比率は、2005年以降9～10%である。
- ⑤ 低出生体重児は、一般的に新生児集中治療室〈NICU〉などにおける医療ケアを要する。

問36 身体障害者福祉法施行規則別表第5号(身体障害者障害程度等級表)で定められている障害種に該当しないものを1つ選べ。

- ① 視覚障害
- ② 肢体不自由
- ③ 発達性協調運動障害
- ④ 聴覚又は平衡機能の障害
- ⑤ 音声機能、言語機能又はそしゃく機能の障害

問37 うつ病に対する認知行動療法の主な技法として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 認知再構成法
- ② 問題解決技法
- ③ 活動スケジュール
- ④ 持続エクスポージャー法
- ⑤ ソーシャル・スキルズ・トレーニング〈SST〉

問38 生物心理社会モデルに関する説明として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 心理的要因には、感情が含まれる。
- ② 生物的要因には、遺伝が含まれる。
- ③ 社会的要因には、対処行動が含まれる。
- ④ 多職種連携の枠組みとして用いられる。
- ⑤ 生物医学モデルへの批判から提案されたモデルである。

問39 アクセプタンス&コミットメント・セラピー〈ACT〉の説明として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 第3世代の行動療法と呼ばれる。
- ② 「今、この瞬間」との接触を強調する。
- ③ 心理的柔軟性を促進させることを目指す。
- ④ 理論的背景として対人関係理論に基づいている。
- ⑤ 価値に基づいた行動を積み重ねていくことを重視する。

問40 緩和ケアの定義(2002年、WHO)の基本的な考え方について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 家族も対象とする。
- ② QOLの改善を目指す。
- ③ 疾患の終末期から開始する。
- ④ がん以外の疾患も対象とする。
- ⑤ スピリチュアルな問題に配慮する。

問41 強姦性交(強姦)等罪の犯罪被害者に認められる可能性があるものとして、誤っているものを1つ選べ。

- ① 加害者の刑事手続に参加すること
- ② 加害者の公判記録の閲覧及び謄写をすること
- ③ 加害者の刑事裁判結果につき通知を受けること
- ④ 加害者が少年の場合、加害者の少年審判を傍聴すること
- ⑤ 加害者の刑事裁判で証言するときに付添人を付き添わせること

問42 T. Wardらが提唱したグッド・ライブス・モデル(Good Lives Model)について、不適切なものを1つ選べ。

- ① クライアントにとっての接近目標と自己管理を重視している。
- ② 性犯罪者のリラプス・プリベンション・モデルに基づいたモデルである。
- ③ 人間の尊厳や権利を重視し、ポジティブ心理学的アプローチをとっている。
- ④ クライアントを社会の中に包摂し、その立ち直りへの動機づけを高めるものである。
- ⑤ 一次的財(primary goods)とは人間が生きる上で必要なもので、行為主体性、友情など11の項目が挙げられている。

問43 質的研究と関わりが深い研究方法や分析方法として、不適切なものを1つ選べ。

- ① PAC 分析
- ② 主成分分析
- ③ エスノグラフィー
- ④ 複線径路・等至性アプローチ
- ⑤ グラウンデッド・セオリー・アプローチ

問44 我が国における思春期・青年期の自傷と自殺について、適切なものを1つ選べ。

- ① 10代の自殺者数は、男性よりも女性の方が多い。
- ② 10代の自傷行為は、女性よりも男性の方が多い。
- ③ 非致死性の自傷行為は、自殺のリスク要因ではない。
- ④ 繰り返される自傷行為は、薬物依存・乱用との関連が強い。

問45 大学における合理的配慮について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 発達障害のある学生が試験時間の延長を申し出た場合には、理由を問わず延長する。
- ② 弱視のある学生による試験時の文字拡大器具の使用を許可することは、合理的配慮に含まれる。
- ③ 大学において何らかの支援を受けている発達障害のある学生は、我が国の大学生総数の約6%である。
- ④ 大学においてピアサポーター学生が、視覚障害のある学生の授業付き添いをする場合、謝金支払いは一般的に禁止されている。

問46 母子保健法で規定されている内容として、正しいものを1つ選べ。

- ① 産前産後の休業
- ② 乳幼児の予防接種
- ③ 母子健康手帳の交付
- ④ 出産育児一時金の支給

問47 職場における自殺のポストベンションとして、不適切なものを1つ選べ。

- ① 必要に応じて専門職員による個別相談の機会を与える。
- ② 集団で行う場合には、関係者の反応が把握できる人数で実施する。
- ③ 自殺の原因になったと推測される人間関係を含め詳細まで公にする。
- ④ 強い心理的ショックを経験した直後の一般的な心身の反応について説明する。

問48 幻肢の説明として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 鏡を用いた治療法がある。
- ② 痛みやかゆみを伴うことがある。
- ③ 上下肢を失った直後に発症する。
- ④ 切断端より遊離したり縮小したりすることがある。

問49 学生相談に関する説明として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 学生相談では、カウンセラー、教職員、学生支援組織及び教育組織の連携と協働が重要である。
- ② 学生相談の対象は、深刻な困難を抱えている一部の学生ではなく、在籍する全ての学生である。
- ③ 入学してくる多様な学生に対応するために、現在は、医学モデルでの対応が重要視されている。
- ④ 学生相談では、個別面接のほか、合宿などを含めたグループカウンセリングやメンタルヘルス関係の講演会などが開催されている。

問50 J. T. Reason が提唱している安全文化の構成要素を表す内容として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 自らのエラーを率直に報告する。
- ② 定められた指揮系統に厳密に従う。
- ③ 不可欠な安全関連情報を提供する。
- ④ 安全に関する情報を基に正しい結論を導き出す。

問51 公認心理師としての実践において倫理的に問題とされる多重関係に該当するものを2つ選べ。

- ① 適度に自分の経験を開示する。
- ② クライアントから母親のイメージの投影を受ける。
- ③ 心理職の同僚間で相互にコンサルテーションを行う。
- ④ 終結を記念してクライアントとレストランで会食する。
- ⑤ 税理士であるクライアントに確定申告を手伝ってもらう。

問52 多職種チームによる精神科デイケアにおいて、公認心理師が主に行う業務として、適切なものを2つ選べ。

- ① 心理教育を行う。
- ② 作業プログラムを企画する。
- ③ 利用者にピアカウンセリングを行う。
- ④ 利用者の公的補助導入について助言する。
- ⑤ ストレスに関して個別相談を希望する利用者に面接する。

問53 ナラティブ・アプローチで用いられるナラティブの概念の説明として、適切なものを2つ選べ。

- ① ABC シェマの形式をとる。
- ② 内容であると同時に行為も意味している。
- ③ 人間の認識形式の1つに位置付けられる。
- ④ 一般的な法則を探求するための手がかりとなる。
- ⑤ 語り手や環境とは切り離された客観的な現実を示すものである。

問54 コミュニティ・アプローチの説明として、正しいものを2つ選べ。

- ① 意思決定プロセスは、専門家が管理する。
- ② サービスの方略は、心理療法が強調される。
- ③ 病因論的仮定は、環境的要因が重視される。
- ④ サービスのタイプは、治療的サービスが強調される。
- ⑤ マンパワーの資源は、非専門家との協力が重視される。

問55 障害者の権利に関する条約〈障害者権利条約〉の内容として、適切なものを2つ選べ。

- ① 障害者の使用に特化した設計をユニバーサルデザインという。
- ② 障害者は、障害の程度に応じて居住する場所について制限される。
- ③ 障害者権利条約を実施するための法令制定に障害者は積極的に関与する。
- ④ 暴力等を経験した障害者の心理的回復のために適切な措置をとることが国に求められる。
- ⑤ 必要な支援を行うことを目的として、支援者は本人の了解なしに個人情報を取り扱うことができる。

問56 不登校児童生徒への支援の在り方について(令和元年、文部科学省)の内容として、適切なものを2つ選べ。

- ① 学校に登校するという結果を最終的な目標として支援する。
- ② 学習内容の確実な定着のために、個別の教育支援計画を必ず作成する。
- ③ 組織的・計画的な支援に向けて、児童生徒理解・支援シートを活用する。
- ④ フリースクールなどの民間施設やNPO等との積極的な連携は、原則として控える。
- ⑤ 校長のリーダーシップの下、スクールカウンセラー等の専門スタッフも含めた組織的な支援体制を整える。

問57 学校におけるいじめへの対応として、適切なものを2つ選べ。

- ① 加害児童生徒に対して、成長支援の観点を持って対応する。
- ② 被害者、加害者、仲裁者及び傍観者といういじめの四層構造に基づいて事案を理解する。
- ③ 当事者の双方に心身の苦痛が確認された場合には、苦痛の程度がより重い側へのいじめとして対応する。
- ④ 保護者から重大な被害の訴えがあったが、その時点でいじめの結果ではないと考えられる場合は、重大事態とはみなさない。
- ⑤ いじめの情報が学校にもたらされた場合には、当該校に設置されている学校いじめ対策組織を中心に情報収集や対応に当たる。

問58 触法少年について、正しいものを2つ選べ。

- ① 触法少年は、少年院に送致されることはない。
- ② 触法少年に対する審判結果は、被害者には通知されない。
- ③ 触法少年とは、14歳未満で刑罰法令に触れる行為をした少年をいう。
- ④ 触法少年は、警察官による事件の調査に関し、いつでも弁護士である付添人を選任することができる。
- ⑤ 児童相談所は、警察から送致を受けた触法少年の事件については、家庭裁判所に送致しなければならない。

問59 学習方法の違いにより学習内容の習得度に差があるかを検討する研究を行った。まず、参加した80名の生徒を無作為に2群(各40名)に分割して事前テストを行い、両群の能力が同等であることを確認した。そこで、一方を講義形式で学習する群、他方を協同学習で学習する群とし、学習後に事後テストを行った。事後テストの平均値(標準偏差)は、講義形式群67.34(9.12)、協同学習群76.40(8.79)であった。また、事前テストと事後テストの得点間の相関係数は、講義形式群0.66、協同学習群0.54であった。

学習方法の違いにより習得度に差があるかを検討する分析法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 2群の事後テストの平均値を対応のある t 検定で分析する。
- ② 2群の事後テストの平均値を対応のない t 検定で分析する。
- ③ 2群の事前テストと事後テストの相関係数を対応のある t 検定で分析する。
- ④ 2群の事前テストと事後テストの相関係数を対応のない t 検定で分析する。
- ⑤ 2群の事後テストの平均値と相関係数を被験者間2要因分散分析で分析する。

問60 乳児 50 名を対象として、視覚認知機能を調べる実験を行った。まず、実験画面上に図形 A を繰り返し提示したところ、乳児は最初は画面を長く注視したが、その後、注視時間は減っていった。注視時間が半減したところで、画面上に図形 B を提示したところ、乳児の画面の注視時間が回復して長くなった。一方、異なる乳児 50 名を対象として、同様に画面上に図形 A を繰り返し提示し、注視時間が半減したところで、画面上に図形 C を提示した場合は、乳児の画面の注視時間は回復しなかった。

この 2 つの実験結果から解釈される乳児期の視覚認知機能の性質として、最も適切なものを 1 つ選べ。

- ① 図形 C よりも図形 B を選好注視する。
- ② 図形 B には馴化し、図形 C には脱馴化する。
- ③ 図形 B よりも図形 C に強い親近性選好を示す。
- ④ 図形 A の後に、図形 C よりも図形 B の出現を期待する。
- ⑤ 図形 A と図形 B は区別するが、図形 A と図形 C は区別しない。

問61 7歳の男児 A、小学1年生。登校しぶりがあり、母親 B に伴われ市の教育センターに来室した。Bによると、Aは、「クラスの子がみんな話を聞いてくれない」、「授業で何をやったら良いのか分からない」と言っている。Bは、Aが教室内での居場所がないようで心配だと話した。公認心理師である相談員 C が A に話しかけると、Aは自分の好きなアニメの解説を一方向的に始めた。

A に対する支援をするに当たり、A の適応状況に関する情報収集や行動観察に加え、C が A 自身を対象に実施するテストバッテリーに含める心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① AQ-J
- ② CAARS
- ③ CAT
- ④ NEO-PI-R
- ⑤ WISC-IV

問62 20歳の男性A、大学2年生。単位取得ができず留年が決まり、母親Bに連れられて、学生相談室の公認心理師Cが面接した。Bの話では、1年次からクラスになじめず孤立しており、授業もあまり受講していない。サークル活動やアルバイトもしておらず、ほとんど外出していない。昼夜逆転気味で自室でゲームをして過ごすことが多い。Aは、「何も困っていることはない。なぜ相談しなければいけないのか分からない」と、相談室に連れてこられたことへの不満を述べるものの、相談を継続することは渋々承諾している。

CのAへの初期の対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 情緒的側面に触れながら、問題への気づきを徐々に促す。
- ② 自室のゲーム機を片付けるといった刺激のコントロールを試みるよう促す。
- ③ 問題状況を改善するための目標設定とその優先順位を検討するよう働きかける。
- ④ 自分の価値観を点検し、自分の言動が周囲にどのような影響を与えるのかについて考えるよう促す。
- ⑤ 授業に出ることについてポジティブなフィードバックを与えて、望ましい行動が強化されるよう働きかける。

問63 45歳の女性A、小学4年生の男児Bの母親。Aは、Bの不登校について、教育センターで教育相談を担当している公認心理師Cに相談に訪れた。親子並行面接の親面接において、AはBについて少ししか話さず、結婚以来、夫から受けてきたひどい扱いについて軽い調子で話すことが多かった。Cは、夫との関係でAが傷ついてきたものと推察しながらも、Aの軽い話ぶりに調子を合わせて話を聞き続けていた。そのうちにCはAとの面接を負担に感じるようになった。

E. S. Bordinの作業同盟(治療同盟)の概念に基づいた、CのAへの対応方針として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① Cを夫に見立てて、夫に言いたいことを口に出してみるロールプレイを提案する。
- ② C自身が、面接を負担に思う自らの気持ちを逆転移と自覚し、その気持ちを重視する。
- ③ ここに相談に来ることでどんなことが違ってきたら良いと思うかを尋ね、目標について話し合う。
- ④ 親子並行面接であることを踏まえ、Bへの関わり方を話題の焦点とし、話が他に逸れても戻すようにする。
- ⑤ Aが話している内容と、その様子が不調和であることを取り上げ、感情体験についての防衛への気づきを促す。

問64 14歳の女子A、中学2年生。1学期に学校を休むことが多かったことを心配した母親Bに連れられ、夏休みに小児科を受診した。BによるとAは、5月の連休明けから頭が痛いといって朝起きられなくなり、遅刻が増えた。めまい、腹痛、立ちくらみがあるとのことで、6月からは毎日のように学校を休むようになった。家では、午後になっても身体がだるいとソファで横になって過ごすことが多い。しかし、夕方からは友達と遊びに出かけ、ゲームやおしゃべりに興じることもある。排便によって腹痛が改善することはないという。

Aの状態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 不安症
- ② 統合失調症
- ③ 過敏性腸症候群
- ④ 起立性調節障害
- ⑤ 自閉スペクトラム症

問65 25歳の女性A、会社員。Aは、混雑した電車に乗って通勤中、急に動悸や息苦しさ、めまいを感じ、「このまま死んでしまうのではないか」という恐怖に襲われ、慌てて病院の救急外来を受診した。心電図などの検査を受けたが、異常は認められず、症状も治まったため、帰宅した。しかし、その日以来、突然の動悸や息苦しさなどの症状が電車内で繰り返し出現した。次第に電車に乗ることが怖くなり、最近は電車通勤ができていない。複数の医療機関で検査を受けたが、原因は特定されず、心療内科クリニックを紹介された。受診したクリニックの公認心理師にAの心理的アセスメントが依頼された。

Aの状態の理解として、適切なものを1つ選べ。

- ① 強迫観念
- ② 心気妄想
- ③ 侵入症状
- ④ 対人恐怖
- ⑤ 予期不安

問66 47歳の男性A、会社員。Aは不眠を主訴に妻Bに伴われて総合病院の精神科を受診した。2年前にAは昇進し、大きな責任を担うことになった。しかし、この頃から寝付きが悪くなり、飲酒量が増加した。最近、Bの再三の注意を無視して深夜まで飲酒することが多い。遅刻が増え、仕事にも支障が生じている。担当医は、アルコール依存症の治療が必要であることを説明した。しかし、Aは、「その必要はありません。眠れなくて薬が欲しいだけです」と述べ、不機嫌な表情を見せた。一方、Bは入院治療を強く希望した。AとBの話を聞いた担当医は、公認心理師CにAの支援を依頼した。

現時点におけるCのAへの対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 入院治療の勧奨
- ② 自助グループの紹介
- ③ 動機づけ面接の実施
- ④ リラクゼーション法の導入
- ⑤ 認知リハビリテーションの導入

問67 50歳の男性A、会社員。Aは、1年前に職場で異動があり、慣れない仕事への戸惑いを抱えながら何とか仕事をこなしていた。8か月前から、気力低下が顕著となり、欠勤もみられるようになった。憂うつ感と気力低下を主訴に2か月前に精神科を受診し、うつ病の診断の下、当面3か月間の休職と抗うつ薬による薬物療法が開始された。Aは、2か月間の外来治療と休職により、気力低下や生活リズムは幾分改善し、復職に意欲はみせるものの、不安は残っている様子である。

改訂心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き(令和2年、厚生労働省)に基づき、現段階のAに必要な支援として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 試し出勤制度の活用
- ② 管理監督者による就業上の配慮
- ③ 主治医による職場復帰可能の判断
- ④ 産業医等による主治医からの意見収集
- ⑤ 傷病手当金など経済的な保障に関する情報提供

問68 78歳の女性A。3年前に夫と死別した後は、一人暮らしをしている。元来きれい好きで、家の中はいつもきちんと片付いていた。遠方に住む一人娘のBは、安否確認を兼ねて毎日電話でAと話をしている。Aは、2年ほど前から何度も同じ話を繰り返すようになり、半年前頃から、Bと午前中に電話で話したことを忘れて、1日に何度も電話をかけるようになってきた。心配になったBがAを訪問すると、家の中や外に大量のごみがあり、冷蔵庫に賞味期限切れの食材が大量に入っていた。Aの人柄が変わった様子は特にないが、Bが捨てるように説得しても、Aは食べられるから大丈夫と言って取り合わない。

Aの状況から考えられる病態として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① うつ病
- ② ためこみ症
- ③ 前頭側頭型認知症
- ④ 持続性複雑死別障害
- ⑤ Alzheimer型認知症

問69 4歳の男児A。Aの養育は精神障害のある母親Bが行っていた。

1歳6か月時の乳幼児健診では、発語がなく、低体重で、臀(でん)部がただれていた。母子で自宅に閉じこもり、Bが不調のときは、Aは菓子を食べて過ごした。ある時、Aに高熱が続くため、小児科を受診したところ、感染症が疑われた。一方、う歯(虫歯)が多数あり、発語も乏しく低栄養状態もみられたため、児童相談所に通告された。Aの一時保護が医療機関に委託され、Aは入院加療となった。Aの入院中にBの精神症状が増悪したために、Aは、退院後に児童養護施設に入所することになった。

入所初期のAへの支援方針として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① リーディングケアを開始する。
- ② 発語を促すために、言語聴覚療法を開始する。
- ③ Aのプレイセラピーを通して、トラウマ体験の表現を促す。
- ④ 歯磨きや整髪、衣類の着脱などの身辺自立を優先して訓練する。
- ⑤ 食事や就寝、入浴など、日課の一貫性が保たれるように工夫する。

問70 14歳の男子A、中学2年生。Aはささいなきっかけからクラスメイトにひどく殴り掛かったことで生徒指導を受けた。その後、Aの欠席が多くなってきたことが気になった担任教師Bは、公認心理師であるスクールカウンセラーCにAを紹介した。Cとの面接において、Aは、父親が母親にしばしば激しく暴力を振るい、母親が怪我をする場面を見てきたと述べた。しかし、父親からAへの暴力はないという。

Cが優先的に行うべき対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① Aの家庭環境を詳細にアセスメントする。
- ② 外部機関と連携しAの発達検査を速やかに行う。
- ③ Bと協力してAと両親を交えた面談の場を設ける。
- ④ 学校でカウンセリングを受けることをAの保護者に提案するよう、Bに伝える。
- ⑤ 学校として児童相談所などに虐待の通告を行うために、管理職などに事実経過を伝える。

問71 15歳の男子A、中学3年生。Aは、推薦で高校に進学が決まってから、友人Bとよく遊んでいた。ある日、Bがゲームセンター内の窃盗で逮捕された。Aは直前までBと一緒にいたが、警察で共犯ではないと認められた。動揺していたAは教師の勧めで、スクールカウンセラーCに話を聴いてもらった。AはCに、「その日は、Bが置きっぱなしの財布を見つけ、盗んで遊ぼうと誘ってきた。迷ったが、そうすれば進学できなくなり、親にも迷惑をかけると思い、Bにやめた方がいいと言って帰宅した」と述べた。

Bの非行にAが加担しなかった理由を理解する上で、適合する非行理論として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① A. K. Cohen の非行下位文化理論
- ② E. H. Sutherland の分化的接触理論
- ③ H. S. Becker のラベリング理論
- ④ R. K. Merton の緊張理論
- ⑤ T. Hirschi の社会的絆理論

問72 23歳の男性A、会社員。大学時代はサークル活動で中心的な存在であった。入社2か月後に行われたストレスチェックの結果、高ストレス者に該当するか否かを判断する補足的な面接を公認心理師Bが行った。Aのストレスプロフィールは次のとおりであった。「心理的な仕事の負担」は質、量ともに低い。「仕事のコントロール度」、「技能の活用度」、「仕事の適性度」及び「働きがい」が低い。「上司からのサポート」と「同僚からのサポート」は高い。ストレス反応は「いらいら感」が強い。「仕事や生活の満足度」は低い、「家族や友人からのサポート」は高い。

BのAへの面接で確認すべき事項として、優先度の高いものを1つ選べ。

- ① 長時間労働の有無
- ② 家庭生活のストレスの有無
- ③ 精神的な疾患の既往の有無
- ④ 職場の人間関係に関する問題の有無
- ⑤ 仕事の与えられ方に関する不満の有無

問73 21歳の女性A、理工系の大学3年生。中学校の理科教科の教師を目指し、専門科目に加えて教員免許取得に関する科目も履修している。しかし、最近アルバイトなどの経験を通して、他者と交流する活動や人に教えることへの興味が低いことに気が付いたため、大学卒業後の職業選択に迷っている。同じ学科の友人や先輩たちと進路について話し合いをするうちに、人と関わる教育などの活動よりも道具や機械を操作する活動に興味が強いことにも気が付いた。そこで、将来の進路として技術職に就くことを考えるようになった。

Aの興味や適性と考え直した進路との関係を説明する理論として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① D. E. Super のライフ・キャリア・レインボー
- ② E. H. Schein の3つのサイクル
- ③ J. D. Krumboltz の計画された偶発性
- ④ J. L. Holland の六角形モデル
- ⑤ N. K. Schlossberg のトランジション

問74 29歳の男性A、会社員。経理関係の部署から営業部に異動後半年経過した頃から、意欲が減退し、出社できない日もあり、上司から社内の心理相談室を紹介され、公認心理師Bが面接した。Aは、初めての営業の仕事であったが、同僚や上司にうまく頼ることができず、仕事になかなか慣れることができないという。Aは、もともとコミュニケーションが苦手なところがあったが、今では人と会うのも怖くなっており、また、取引先との円滑なやりとりができそうにないと、営業の仕事を続けることについての不安を訴えている。

Aのアセスメントにおいて、テストバッテリーに含める検査として、不適切なものを1つ選べ。

- ① AQ-J
- ② BDI-II
- ③ IES-R
- ④ LSAS-J
- ⑤ STAI

問75 22歳の男性A。Aは、同居している父親を台所にあった果物ナイフで切りつけ、全治1か月の怪我を負わせた傷害事件で逮捕された。Aに犯罪歴はない。Aの弁護人によると、Aは一人っ子で、両親との三人暮らしである。中学校入学直後から不登校になり、これまで短期のアルバイト経験はあったものの、本件当時は無職であった。動機についてAは、「近所の人たちが自分の秘密を全て知っているのは、親父が言っているからだ。昔から殴られていたことの恨みもあった。だから刺した」と述べている。

Aの情状鑑定で検討する事項として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 性格の特性
- ② 認知の特性
- ③ 家族の関係性
- ④ 心神喪失状態の有無
- ⑤ 犯行当時の生活状況

問76 10歳の女兒 A、小学4年生。小学3年生の3月に限局性学習症／限局性学習障害〈SLD〉と診断された。新学期が始まり、スクールカウンセラー B は A の担任教師 C から、A に対する支援について相談を受けた。C の情報によると、A はおとなしく穏やかな性格であり、他の児童との交流は良好である。一方で、語彙が乏しいため、自分の気持ちを適切に表現できない様子がみられる。授業中は、板書をノートに書き写すことに時間がかかっている。結果として、学習に遅れが生じている。

B の最初の対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 個別の指導の時間をとるよう C に助言する。
- ② A の感情の言語化を促すよう C に助言する。
- ③ A に知能検査を実施して、認知機能の偏りを把握する。
- ④ 授業中の学習活動を観察して、A の学習方略とつまずきを把握する。

問77 20歳の男性A。現在、精神科病院に入院中である。Aの母親はすでに他界している。Aは19歳のときに統合失調症を発症し、2回目の入院である。近々退院予定であり、退院後は、父親Bとの二人暮らしとなる。BはAに対して、「また入院したのは、自分で治そうという気がないからだ」、「いつも薬に頼っているからだめなんだ。もっとしっかりしろ」とたびたび言っている。Aの主治医は、公認心理師Cに退院後の再発予防に有用な支援を検討してほしいと依頼した。

このときCが実施を検討すべきものとして、適切なものを2つ選べ。

- ① Aに対するSST
- ② Bに対する回想法
- ③ Bに対する心理教育
- ④ Aに対するTEACCH
- ⑤ AとBに対するリアリティ・オリエンテーション

